



井手段 幸樹 ITEDAN Koki

職名	助教
担当科目	精神看護学概論、精神看護援助論、精神看護学実習、看護総合実習、佐久の医療とケアの歴史 地域生活者交流者実習Ⅰ看護学研究
学歴	群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程(修士課程)
学位	修士(保健学)
主な職歴	東京足立病院 看護師 群馬大学大学院保健学研究科 助教 佐久大学看護学部看護学科 助教(現職)
研究分野/ Key word	運動療法, 精神看護学
主要著書・ 学術論文	1. 京田亜由美、井手段幸樹、牛久保美津子(編)(2019). 地域完結型看護をめざした看護教育 地域包括ケア時代の実習指導. 174-179, 東京:メヂカルフレンド社 2. 井手段幸樹、岡美智代(2018). 2型糖尿病患者における歩行運動継続について - 実施者 へのインタビューから-. 群馬保健学研究, 38, 137-146 3. 井手段幸樹(2017). プチナース 特集慢性期実習で出会う疾患別看護のポイント. 28-29, 東京:照林社 4. 岡美智代、佐藤由美、大山良雄、桐生育恵、井手段幸樹、齋藤実千代、千村洋、三枝孝裕、 中村成孝(2017). アウトリーチ構想も含む地域における看護技術による生活習慣病患者の支 援(地域包括ケアと行動科学). 日本保健医療行動科学会雑誌, 32(1), 7-14 5. 丸山真実、岡美智代、井手段幸樹、上星浩子、清水美和子、石倉美穂子、瀬尾幸子、木村 和美、北爪友樹(2019). 「聞き書き」を受けた透析患者の意識・感情の変化(口演). 第64回 日本透析学会学術集会・総会 6. 井手段幸樹、川口桂嗣(2022). 行政保健師のメンタルヘルスに影響する要因 文献検討か ら. 信州公衆衛生学会, 16(2), 71-79
所属学会	日本保健医療行動科学会、日本慢性看護学会、日本糖尿病教育学会、
主な社会 貢献活動	日本統合医療学会群馬県支部 役員
出前授業 テーマ	心と運動の関係(運動がメンタルヘルスに及ぼす影響)について分かりやすく説明します。
E-mail	k-itedan@saku.ac.jp